

地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>住み慣れた地域の中で、地域の方の見守りの中で安心して暮らせるように心がけ、下記の理念を掲げています。</p> <p>1. 『家族団らんの笑い声の出るホーム』を目指す。</p> <p>2. その人の人生を大事にする。</p> <p>3. 常に人生の先輩として敬い、ケアに努める。</p>	<p>今後も地域の中でその人らしく暮らせるにはどのようにサポートしていったらいいかを追求し続けていけるように取り組んでいきたい。</p>
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>・月1回の職員会議のときに全員で唱和している。</p> <p>・施設内の3箇所理念を掲示している。</p> <p>・理念を目標に毎月、1ヶ月の目標を挙げ、理念に近づけられる様に取り組んでいる。</p>	<p>○</p> <p>今後も理念が生かされるような介護に取り組んでいきたい。</p>
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切に理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>・地域の区長さん、民生委員さん、老人会代表さん、学識経験者、家族代表等の方が参加しておられる運営推進会議で理念を説明している。</p> <p>・外来者が目に付きやすい玄関入り口、エレベーター内及びホール内に理念を掲示している。</p>	<p>○</p> <p>今後は理念が地域の中で生かされるように働きかけを工夫していきたい。</p>
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>・地域の行事に参加したり、語見出しや散歩などを通して、挨拶や言葉掛けを行っている。</p> <p>・犬を飼っているのが、ご近所の方が親子連れで見にこられたり、犬を通しての会話がある。</p> <p>・地域の慣習や行事についてわからないことはご近所に聞きに行き、教えてもらっている。</p> <p>・回覧板を通して隣近所との交流がある。</p>	<p>○</p> <p>ホーム行事を通して、隣近所に参加してもらおう等検討していきたい。</p>
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>・町内会に参加して、地域の行事や活動の情報を得・地域のさくら祭り、夏祭りに参加している。</p> <p>・作業奉仕に職員が参加し、できるだけ交流するように努めている</p>	<p>○</p> <p>利用者の参加を祭りだけでなく、サロン行事等や文化行事等も参加できるように検討していきたい。</p>

グループホームはなみずき

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	平成19年度は家族介護教室を3回開催し、認知症及び介護保険についての研修を行ったが、平成20年度はまだ行っていない。	○	健康教室やサロン行事に参加し、地域の中で認知症になっても安心して暮らせるような社会、風土づくりに貢献していきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	事前に全職員に自己評価表を手渡し、カンファレンスに望んだが、まだ職員がどのように取り組んでいき、どのように評価していったらいいのかわからず、活発な意見は聞かれなかった。しかし、昨年の評価を基に管理者、主任、施設長が中心となり、全職員で検討し具体的な改善の取り組みは行われた。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はなみずき便りの発行により職員や行事予定や実施報告を行っている。</li> <li>・職員のモラル向上として職員が企画し定期的に勉強会を行っている。</li> <li>・マニュアルの整備;災害時マニュアル、終末期ケアマニュアル等の作成。</li> <li>・利用者とともに過ごし、支えあう関係づくりとして、散歩、食事づくり、掃除、洗濯等をともにやっている。</li> </ul>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	家族、区長、老人会代表、民生委員、学識代表、市職員、地域包括職員、法人理事、消防職員等が参加する運営推進会議において積極的な意見交換により助言をいただいたりして取り入れている。	○	さらに向上できるようにしていきたい。
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	取り組んでいる。	○	今後も継続していきたい。
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	地域福祉権利擁護事業を利用しておられる利用者が一人いる。	○	
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	虐待に関する研修に参加したり、利用者への言動に注意を払い、利用者の尊厳が守られるようにしている。そのためにも、毎月の目標を掲げ、ケアに努めている。	○	今後も継続していきたい。

グループホームはなみずき

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入所時に契約書、重要事項説明書、及び看取りに関する事前説明書に基づき説明を行い理解、納得してもらっている。</p>	<p>○</p> <p>今後もよりいっそう信頼関係が深まるように努めたい。</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者の意見には常に耳を傾けている。施設長、管理者は利用者からの不満を聞き、対処している。外部者へ表せる機会としては、第三者委員を設けていたり、また介護相談員の定期的に来所してもらい利用者の意見を聞いてもらっている。</p>	<p>○</p> <p>利用者がいつでも気兼ねなく意見や、不満、苦情を言えるようにするために、より一層の対策が必要と考えています。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>・金銭管理に関しては購入前に必ず連絡し承諾を得ている。また1ヶ月の収支決算を文書にて報告している。 ・健康状態に関しては、変化があったときにその都度報告して対応している。また変化がないときはご家族の面会のときに状態を報告している。 ・職員の紹介等に関しては、はなみずき便り等で報告している。</p>	<p>○</p> <p>定期的にはなみずき便りを発行していく予定。年4回。</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・家族が来所時面談の機会を持ち、意見や苦情などを聞くように努めている。 ・また運営推進会議の時にも意見や改善点などを聞くようにしている。 ・第三者委員も設置してあり苦情を聞いてもらう体制はとっている。</p>	<p>○</p> <p>家族が遠慮なく意見が言えるようにより工夫が必要と思っている。今後アンケートや意見箱を設置し、積極的対応をしていきたい。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員会議及び個人面談等の機会を各月1回は設けており、反映している。</p>	<p>○</p> <p>職員の意見は反映されていると思われるがより一層信頼関係が深まる様に努力を続けて生きたい。</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>努めている。ターミナルステージの利用者がいるときや職員が夜勤になれていない場合には、当直者を配置したり、夜勤者を2人にするなど行っている。</p>	<p>○</p> <p>今後も継続していきたい。</p>
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>している。</p>	<p>○</p> <p>今後も継続していきたい。</p>

グループホームはなみずき

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>5. 人材の育成と支援</b>				
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年度初めに研修計画を立て、職員が参加できるようにしている。</p> <p>初任者研修、中級者研修、上級者研修や認知症実践者研修、介護技術研修等に参加してもらっている。</p> <p>新人研修マニュアルの作成を行い、採用時のオリエンテーションや介護技術の指導を行ったことにより、職場への慣れや理解が深まったと思われる。</p> <p>研修に参加した職員が、職場で伝達講習を行うシステムを作り、研修参加者の理解はより深まり、また研修に参加していない職員も理解できて、レベルアップにつながっていると思わ</p>	○	今年度より他施設での現場研修を計画している。
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>している。福井県グループホーム協会に加入しているが、活動があまりなく交流するまでにはいたっていない。</p>	○	今後受身的でなく積極的に地域にあるグループホームと連絡を取り、活動に取り組んでいきたい。
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>している。休憩室の設置を行い、職員が職場から開放される時間を設けている。</p> <p>また年に3回ほど飲み会を設けて職員同士がリラックスできる関係作りをしている。</p>	○	今後も継続していきたい。
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>努めている。各人に役割を持っていただけるように勉強会や行事等を行っている</p>	○	職員が役割が負担にならないようなサポートの方法を構築する必要ありと思われる。
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>				
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>している。</p>	○	今後もよりいっそう信頼関係が深まるように努めたい。
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>している。</p>		今後もよりいっそう信頼関係が深まるように取り組んでいきたい。

グループホームはなみずき

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	している。	○	今後もより一層取り組んでいきたい。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	している。デイサービスでの日中利用や、お試しお泊り利用、見学などをしていただきなごめるように努力している。	○	今後も継続していきたい。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	している。一緒に洗濯や料理、掃除、園芸などをして、利用者から教えてもらったりしている。	○	今後もより一層取り組んでいきたい。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	一緒に看取り介護をしたり、行事等に参加してもらうなどして努力しているがまだまだ不十分と思われる。	○	今後もより一層取り組んでいきたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	している。しかし家族の受け入れも関係しまだまだ不十分と思われる。	○	今後もより一層取り組んでいきたい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	している。本人の家の周辺の散歩や地区の敬老会の参加により支援している。しかし、家族の受け入れ不十分で全員の利用者がこのような支援は行えず、一部の利用者にとどまっている。	○	今後、家族との協力関係を作り支援していきたい。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	している。毎日の散歩や園芸活動を通し、利用者さん同士が話し合うようになってきている。しかし一方で認知症のため、利用者さん同士が理解出来ず、トラブルになることもある。	○	今後も利用者さん同士がトラブルを起こさないように、支援のあり方について一層とりにくんでいきたい。

グループホームはなみずき

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	今のところ対象者なし。	○	今後対象者が現れた場合、取り組んでいくつもりである。
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
<b>1. 一人ひとりの把握</b>				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	している。	○	今後も本人との話し合いを徹底し検討していきたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	している。センター方式のアセスメントを用いできるだけ今までの生活歴や環境把握に努めている	○	今後もより一層中身の充実を図っていきたい。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	している。センター方式のアセスメントの活用により把握できるように努めている。	○	今後もさらに把握できるように努めていきたい。
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	カンファレンスを勤務表の中に計画的に組み入れ、実施するようにしているが、管理者や施設長が参加出来ない時は、職員のみでは実施されていないことが多い。	○	職員のレベルアップできるような支援体制が必要と思われる。今後職員のレベルアップができるように支援していき、管理者、施設長がいなくてもカンファレンスが出来、介護計画が作成できるように支援していきたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	話し合いをして、介護計画の検討までしているが、担当職員が文章化することに慣れておらず、記録が遅れている状況である。	○	せっかくカンファレンスで検討し計画作成しているにもかかわらず、文章化できないために介護計画書が作成できず、中途半端になっている状況。この状況から今後は検討し即文章化できるように、職員の支援体制を行っていきたい。

グループホームはなみずき

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録はされているが、気づきや工夫の個別記録が不十分で介護計画の見直しにいかされていない。	○	計画に基づいた視点からの記録の方法についての勉強会や情報を共有できるような記録の仕方について実践し今後介護計画の見直しにいかされるように取り組んでいきたい。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	している。グループホームのみの生活で変化が少なく感じている利用者に対しては、同じ建物の中にあるデイサービスに随時参加してもらっている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	しているがまだまだ支援の輪は弱く、今後積極的に取り組んでいく必要がある。	○	
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	していない。どのようにしていったらよいのか見当がつかない。グループホームで他のどのようなサービスの利用ができるのか知らない。	○	
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	権利擁護に関しては一人利用者がいる。社会福祉協議会の担当者と協働しサポートしている。地域包括支援センターとの協働は運営推進会議等で意見交換などを行っている。	○	今後も継続していきたい。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	している。かかりつけ医との連携は良好で、定期的に往診してくださったり、また状態変化に対しては常時連絡、報告、相談し早期に治療し悪化しないようにし入院までに至らないようにしている。また見取り介護も医師の協力の下に行っている。	○	今後も継続していきたい。

グループホームはなみずき

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	○	今後も継続していきたい。
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	○	今後も継続していきたい。
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	○	今後も継続していきたい。
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	最近マニュアル化したので、今後も家族、医師、職員が全員で方針を共有できるように確立していきたい。
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	今後も事例を重ねながら検討し確立していきたい。
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	○	今後も継続していきたい。



グループホームはなみずき

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	心がけている。	○ 今後も継続していきたい。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	心がけている。 本人と話し合うようにしている	○ 今後もご利用者に合わせるように対応していきたい。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	心がけている。本人と話し合い希望に添えるように配慮している。	○ 今後も努力していきたい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	心がけている	○ 今後も継続していきたい。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者ができることを無理のない様にしてもらっている	○ 今後も利用者の気持ちを大事にした名が楽しく暮らせるように支援していきたい。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	心がけている。今のところお酒やタバコの飲まれる方はいない。これはアルコール性認知症や肺疾患のため、医師から禁止されており、入所された方ばかりなので、入所後は本人からの要求があっても理由を説明すると納得され、それ以上要求されないためあげていない。他の飲み物、おやつに関しては出来るだけ嗜好に合うように支援している。	○ 今後もより一層配慮し一人ひとりが自由に飲みたいときに飲み物が飲め、食べたいときにおやつを食べられるような支援ができるようにしていきたい。

グループホームはなみずき

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	心がけている。随時トイレ誘導や声掛けを行っている。	○	今後も継続していきたい。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3回(月、水、金)を入浴日と決めているが、本人の希望や体調に合わせて、入浴日でない日でも入浴できるようにしている。ただし、時間帯は日中の時間帯に限られており、今のところ夕食後の入浴は、人員配置上出来ていない。	○	今後入浴を楽しめるような配慮を検討していきたい。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	心がけている。		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	心がけている。洋裁の得意な方には縫い物をしてもらったり、畑仕事の得な方、園芸の好きな方にはそれぞれ野菜作り、や花植えに参加してもらっている。	○	今後もより一層各人の役割、楽しみごとを見出し充実した生活の支援をしていきたい。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理はジムで行っているが、外出時には本人にお小遣いを手渡し、使えるように支援している。ただ今のところこのような機会が少ないので十分ではないと思われる。	○	今後外出時本人希望や力に合わせて使えるように支援していきたい。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は外出や外気浴をしている。出来るだけ外に出れるように支援しており、独歩の方には毎日の散歩を心がけている。	○	今後も継続していきたい。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	職員が同行して、行事としての外出は行っているが回数が少なく不十分。	○	今後家族と連携して外出できる機会を多くしていきたい。

グループホームはなみずき

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	出来ていない。本人から家族へ電話をして欲しいと希望があったり、家族から電話がかかってきたときには、取り次いでいる。	○	今後手紙のやり取りなどができるように支援していきたい。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	している。家族たちとの時間が気兼ねなく暮らせるように、居室は畳の部屋を基本としている。畳を使用していない部屋に関しては、家族が来られたときに、畳を用意したり椅子を準備したりしている。またフロアで職員、他の利用者とともに過ごせるように長椅子への声掛けも行っている。	○	今後も継続していきたい。
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修に参加したりして取り組んでいる。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	取り組んでいる。エレベータの鍵はかけず玄関の鍵は夜間しかかかっていない。	○	今後も継続していきたい。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	している。日中は1階のデイ職員と連携し見守りをを行っている。また夜間等人員の少ないときは、入り口に徘徊センサーが作動するように設定し、安全確認を行っている。	○	今後も安全管理には十分配慮していきたい。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	心がけている。髭剃り用の剃刀や縫い針などは本人の希望に合わせ、本人に管理してもらっている。	○	今後も危険防止、安全管理に注意しながら本人の意向に沿うように支援していきたい。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	心がけている。事故が発生したときは、事故報告書に記入し職員で勉強会を開催し事故防止に取り組んでいる。	○	今後もレベルアップを目指し取り組んで生きたい。

グループホームはなみずき

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	消防署の人に来てもらい、救急法の講習会をしたりしているが、回数的にはまだ不十分。	○	今後年2回ほど定期的に訓練をしていきたい。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	不十分。災害時マニュアルの作成はしたが訓練や近所の方との連携を得られるような働きかけは弱い。運営推進会議では地区の区長さんからの助言や協力的な言動はいただいているが、具体的にはどのようにする釜では検討されていない。	○	今後地域の方に協力してもらい、避難訓練を行って対応できるようにしていきたい。 2月に避難訓練予定である。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	随時家族との話し合いをしているがまだ不十分	○	今後リスクマネジメント等の勉強会も行い、対応策について検討していきたい。
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	心がけている。看護師及び介護職員による毎日のバイタルサインチェック、体調の観察を行っており、体調の変化に関してはかかりつけ医に報告、連絡、相談を密に行っており、早期発見し対応出来ている。	○	今後も継続していきたい。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの服薬情報をもらっている。それに関して看護師が把握し職員に説明を行っている。	○	今後も継続していきたい。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分を多く取るように支援したり、野菜を多くとるような献立をして支援している。 またトイレでの排便を習慣つけるように声掛け支援している。	○	今後も継続していきたい。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	声掛けや介助によりほぼ全員にされている。	○	今後も継続していきたい。

グループホームはなみずき

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	心がけている。経口摂取が少ない方や経口摂取が困難な方には医師と相談し、高カロリー栄養食等の工夫などし支援している。	○	今後も継続していきたい。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	している。感染症防止マニュアルの作成がしてあり、それをもとに取り組んでいる。またインフルエンザに関しては、利用者、職員全員が予防注射を受けるようにしている。	○	今後も継続していきたい。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	している。調理用具の消毒や乾燥も徹底して取り組んでいる。	○	今後も継続していきたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	している。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	今には季節感の感じられる作品を展示したり、家庭的な雰囲気に取り組んでいる。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	今のソファや食堂のテーブルを利用して思い思いに過ごされている。		

グループホームはなみずき

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	行っている。入所時には、本人の好みのもや本人の使い慣れたものを持ってきてもらうようにしている。	○	今後も快適に過ごせるように工夫していきたい。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	している。		
<b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりを取り付けたり、ベッド柵を利用して出来るだけ自立した生活を送れるように工夫している。	○	今後も安全に自立した生活ができるようにしていきたい。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	心がけている。	○	今後も心がけていきたい。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	庭の一部に農園を作り、活動できるようにしている。 車庫のガレージでは外気浴をしたり、お茶会、バーベキュー等を行っている。	○	今後も取り組んでいきたい。

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

グループホームはなみずき

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

家庭的な雰囲気の中で一人ひとりを大事にしたケアができること。  
 小人数なので、きめ細かいケアができること。また利用者及び家族の把握ができ、関係も深くなれること。  
 常勤の看護師がおり、健康管理ができ、またかかりつけ医の協力もあり、医療との連携がよく出来ている。看取り介護のできる体制である。